

第84回人口問題審議会総会

第84回人口問題審議会総会は、平成12年2月28日（月）午前10時より12時まで、中央合同庁舎特別第1会議室において開催された。最初に、厚生省児童家庭局企画課長より、「少子化対策に関する行政の取り組みについて」と題して、少子化対策推進基本方針、新エンゼルプラン、児童手当制度の改正などの報告があり、次いで、厚生省統計情報部人口動態統計課長より、「平成11年人口動態統計の年間推計」について、阿藤誠国立社会保障・人口問題研究所副所長より、「政策科学推進研究発表会（少子化について考える）」についての報告があり、その報告をめぐって質疑応答が行われた。

最後に、今後の進め方について、事務局より、「出生率に影響を与える、未婚化・晩婚化の要因の分析」実施の提案があり、他にも検討課題は多くあるとの意見もあったが、了承された。

（金子武治記）

日本人口学会関東・東北地域部会1999年度第2回研究報告会

日本人口学会関東・東北地域部会の1999年度第2回研究報告会は2000年3月25日、東北学院同窓会館（宮城県仙台市）にて開催された。報告は以下の3題である。

第一報告「都道府県別世帯推計の手法と結果について」

西岡八郎・小山泰代・鈴木透・山本千鶴子（国立社会保障・人口問題研究所）

第二報告「マレーシアを中心とする国際労働移動」

大塚友美（日本大学）

第三報告「ランダム・シナリオ法による日本の将来人口推計の試み」

南條善治（東北学院大学）

第一報告は当研究所が2000年3月に公表した「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」に関する報告である。今回の推計では、前回（1995年）同様、都道府県別世帯主率の全国値に対する相対的格差の過去の動向を将来へ延長する方法をとっており、報告においては、仮定値の設定方法等、手法を中心に解説が行われた。第二報告はマレーシアの経済を超長期経済モデルと人口経済計量モデルとしてそれぞれ定式化し、人口を含めた諸経済指標の将来推計を行ったもので、マレーシアの経済発展が日本との間の労働力移動に及ぼす影響についても考察が行われた。第三報告は、人口の将来推計において近年注目されているランダム・シナリオ法という手法に関する報告で、手法の紹介とともに、日本における初めての適用例として、日本全国および都道府県別（ここでは2県のみ）の確率的将来推計人口が示された。これは日本におけるランダム・シナリオ法についての先駆的な研究であり、人口や世帯数の将来推計に関わる者にとどまらず、多くの研究者にとって非常に興味深い報告であった。

年度末という時期にも関わらず、当日は多数の参加者があり活発な討議が行われた。なお、研究会終了後に、当部会の運営に長くご尽力くださった東北学院大学の南條善治先生の退官を祝う会を兼ねて懇親会が催され、多数の出席者のもと盛会であった。本報告会の企画・運営に尽力された宮城学院女子大学の阿部隆先生に感謝する次第である。

（小山泰代記）

APEC 人材養成部会経済開発ネットワーク第8回国際ワークショップ 「APEC 参加国・地域における国際人口移動と人材養成」

国際ワークショップ「APEC 参加国・地域における国際人口移動と人材養成」は、2000年1月20、21日の両日、日本貿易振興会アジア経済研究所において開催された。このワークショップは、平成4